

特別展 I

山川秀峰 —受け継がれる清方イズム

令和8年4月18日(土)～5月24日(日)

※会期中、一部展示替えあり

Yamakawa Shuho: The Successor of Kiyokata's Aesthetic
18 April—24 May

清方の高弟の山川秀峰は、同門の伊東深水とともに戦前の日本画壇で評価されながらも47歳の若さでこの世を去ったために、これまで注目される機会が少なかった画家です。師・清方と同様に伝説や物語、季節の情緒あふれる女性風俗などを描き、大正から昭和前期にかけて官展を中心に活躍しました。

本特別展では、秀峰と清方の作品を展示し、秀峰が受けついだ清方イズムを紐解きます。



山川秀峰《藤娘》昭和13年(1938)頃
個人蔵 【5/8～展示】



鑄木清方《舞妓》昭和5年(1930) 当館蔵

特別展 II

そして、新版画へ。
—深水、巴水ら清方の弟子たち—

令和8年5月30日(土)～7月5日(日)

The Dawn of the Shin-hanga
30 May—5 July

江戸時代の浮世絵にみられる絵師・彫師・摺師の協同創作による木版画は、明治時代には清方をはじめとする挿絵画家たちによる木版口絵へとその命脈をつないでいきます。そして大正期以降、伊東深水や川瀬巴水、笠松紫浪ら清方の弟子たちが、版元・渡邊庄三郎とともに芸術性の高い新しい木版画「新版画」を生み出していきました。

本特別展では、弟子たちにより結成された「郷土会」展へ出品した清方の作品のほか木版口絵の名作を、伊東深水、川瀬巴水らによる版画作品とともにご紹介します。



鑄木清方・画 菊池幽芳・著『百合子』中編 木版口絵
大正2年(1913) 当館蔵



川瀬巴水《鎌倉大佛》昭和5年(1930)
版元・所蔵:渡邊木版美術画館

企画展 III

冬景色 —押絵羽子板とともに—

令和8年12月4日(金)～令和9年1月11日(月・祝)

Winter Scenery of Kiyokata's Works
4 December—11 January

冬の景色のなかでも雪が舞う情景や氷雨が木々に凍り付いて輝く様子が美しいと感じていた清方。

本企画展では、清方が冬景色を描いた作品や口絵とともに清方作品を意匠化した押絵羽子板「明治風俗十二ヶ月」をご紹介します。



《雪の兔》『婦人画報』口絵 大正4年(1915) 当館蔵

企画展 IV

画家・清方誕生! —師・年方のもとで

令和9年1月20日(水)～2月28日(日)

Starting Point of Kiyokata's Career
20 January—28 February

江戸後期に興隆した歌川派・浮世絵の系譜をひく日本画家・水野年方(1866-1908)とその弟子の鑄木清方(1878-1972)。江戸から明治という大転換の時代を生きた水野年方は、歴史画に新たな可能性を見出し、清方は新時代の浮世絵表現を模索しました。

本企画展では、年方から清方へ受け継がれた美の系譜を紐解きます。



《先師の面影》昭和24年(1949) 当館蔵

企画展 V

華やぐ木版画の世界 —清方の口絵を中心に—

令和9年3月6日(土)～4月11日(日)

Brilliant World of Woodblock Frontspieces by Kiyokata
6 March—11 April

春休み 3月25日(木)～4月4日(日)の期間中、
親子鑑賞 小・中学生及び同伴者 観覧無料

清方が人気挿絵画家として活躍した明治から大正期は、優れた技巧と鮮やかな色彩の木版口絵が読者の目を楽かせていました。

本企画展では、清方が明治期に手がけた木版口絵を中心に紹介します。



《都鳥》『文芸倶楽部』木版口絵 明治45年(1912) 当館蔵

企画展 I

清方の写生帖 —日々を写す色と線—

令和8年7月11日(土)～8月23日(日)

Exploring Kiyokata's Sketchbook
11 July—23 August

夏休み 会期中、小・中学生及び同伴者
親子鑑賞 観覧無料

清方は常に写生帖を手元に置き、日常的にスケッチをしていました。本企画展では、当館が所蔵する膨大な写生帖の中から、作品の構想や夏の風物を描いたスケッチを中心にをご紹介します。

向日葵のスケッチ 制作年不詳 当館蔵



企画展 II

鑄木清方の文学愛

—“推し”に捧げる挿絵の世界—

令和8年9月2日(水)～10月18日(日)

Kiyokata's Love for Literature
2 September—18 October

幼少期から文芸に親しみ育った清方は、挿絵画家として画業を始めました。樋口一葉や泉鏡花といった憧れの作家たちの作品へ挿絵を描きたい、という強い思いが、一流の挿絵画家にいたる原動力となりました。本企画展では、文学作品に材を取った作品および木版口絵や書籍の装丁などを通して、清方の熱い文学愛をご紹介します。



《一葉女史の墓》
明治35年(1902) 当館蔵

特別展 III

昭和100年 清方作品にみる日本のこころ

令和8年10月23日(金)～11月29日(日)

Finding Japan in Kiyokata's Works
23 October—29 November

明治・大正・昭和の激動の時代を生きた清方。戦前は東京に、戦後は鎌倉に住まいながら、同時代の人々の暮らしを見つめ制作を重ねました。そうして世に出した作品には、日本で長く伝承されてきた季節ごとの慣わしや歌舞伎などの芝居文化のほか、清方が昭和の人々に届けなかった明治の人々の暮らしを描いたものなどがあります。世相が目まぐるしく変化する中で、後世に伝えるべき日本の美しい景色を清方は絵にしました。本特別展では、昭和期の画業とともに、画家としての社会へのメッセージもご紹介します。



《朝夕安居》(朝)
昭和23年(1948) 当館蔵

Exhibition Schedule April, 2026 – March, 2027

展覧会カレンダー

○... 休館日 closed □... 展示解説日(13:30から)

Calendar for April 2026 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for May 2026 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for June 2026 with dates 1-30 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for July 2026 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for August 2026 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for September 2026 with dates 1-30 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for October 2026 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for November 2026 with dates 1-30 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for December 2026 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for January 2027 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for February 2027 with dates 1-28 and circled numbers indicating exhibition dates.

Calendar for March 2027 with dates 1-31 and circled numbers indicating exhibition dates.

※展示内容は毎回全て替わります。※展覧会名、会期、内容等は変更することがあります。